

## 保健指導サービスの評価と改善

個人のスキルアップから組織の質管理まで

著：森晃爾／医学書院  
定価：2,940 円(本体 2,800 円+税 5%)／TEL：03-3817-5657

■特定健康診査と特定保健指導の制度導入により、地域保健、職域保健に共通の保健指導が行われている。効果的な実施を目指し、予めプログラムに評価が組み込まれている点新しい。本書は、保健サービスの提供するプログラムの評価と改善を目的に、個人から職場、地域全体におけるコンピテンシーの確立から効果的な計画と管理システムの運用までを、具体的・実践的に紹介、解説する。

## 正常分娩の助産術

トラブルへの対応と会陰裂傷縫合

著：進純郎・堀内成子／医学書院  
定価：3,000 円(本体 3,150 円+税 5%)／TEL：03-3817-5657

■本年 6 月に開院した聖路加産科クリニックの所長と副所長との共著。片やお産の黒子に徹し、自らの自立を追究してきた助産師、片や「自然なお産」を熱く応援する医師。産科医不足のなか、院内助産所が増えているが、そこで働く助産師は、助産師本来の機能を発揮できているだろうか。助産術の解説にとどまらず、トラブル対応を通し、助産師と産科医の望ましい連携の在り方をも示唆する 1 冊。



## 参加観察法入門

著：James P. Spradley／監訳：田中美恵子・麻原きよみ／医学書院  
定価：3,150 円(本体 3,000 円+税 5%)／TEL：03-3817-5657

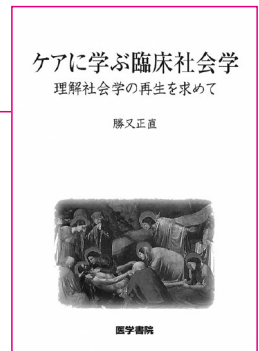
■エスノグラフィー(民族誌)を学ぶための、参加観察法の古典的名著“Participant Observation”の待望の翻訳本である。人類学の目的である「社会的行動の規則性と多様性を記述し説明する」(本文より)ことは、あらゆる人間理解を目的とする学問にとって有用なことは言うまでもない。参加観察の方法が、ステップを踏んで解説される。看護研究の大きな武器を手に入れよう。

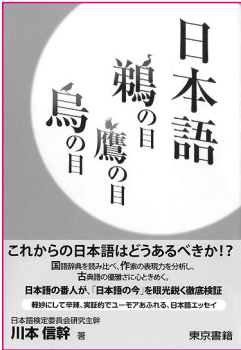
## ケアに学ぶ臨床社会学

理解社会学の再生を求めて

著：勝又正直／医学書院  
定価：2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)／TEL：03-3817-5657

■『ナースのための社会学入門』『はじめての看護理論』で、看護における社会学的手法についてわかりやすく解説してきた著者が、ケアの現場から立ち上げた臨床社会学によって、ケアに活かす社会学、マックス・ヴェーバーの理解社会学の再生を模索する。ヴェーバーの病気体験から生まれた理解社会学、その過程を丹念に追い、病むことによる意味世界の喪失と、そこに寄り添うケアの役割を考える。





## 日本語 鶺鴒の目 鷹の目 鳥の目

著：川本信幹／東京書籍

定価：1,470 円(本体 1,400 円＋税 5%)／TEL：03-5390-7531

■月刊『国語教育』の人気エッセイ連載が単行本に。書籍タイトルの「鶺鴒の目、鷹の目、鳥の目」に「梟(ふくろう)の目」を加えてテーマを大別。読者目線、文学的視点、誤用の指摘、日本語の由来を辿るといふ、4つの切り口で「日本語の今」を鋭く、ユーモアたっぷりに検証する。日本語の行く末を憂える著者の日本語への愛情が伝わる1冊。看護を教え伝えるあなたの日頃の話し言葉や書き言葉はおざなりになっていませんか？

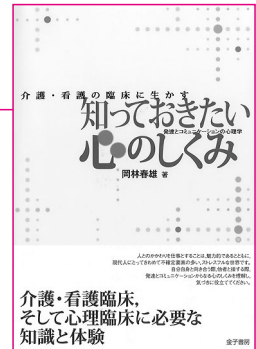
介護・看護の臨床に生かす

## 知っておきたい心のしくみ

著：岡林春雄／金子書房

定価 2,625 円(本体 2,500 円＋税 5%)／TEL：03-3941-0111

■「心のしくみは、個人内で完結するものではなく、人と人とのかかわり中で育っていくものです」(「あとがき」より)。介護や看護の場で働く人は、そのことの豊かさも、困難さも、身をもって感じているはず。本書はそのきわめて不確定要素の多い、ストレスフルな領域で働く人たちに、発達心理学から見た人の心のしくみをわかりやすく解説するもの。相手の心への“気づき”の第一歩を踏み出そう。



## 奇跡の医師

東洋一の個人総合病院・上海福民病院を造った慈愛の医業

著：南堀英二／光人社

定価 2,100 円(本体 2,000 円＋税 5%)／TEL：03-3265-1684

■戦前の上海、東洋一の個人病院といわれた福民(Foo Ming)病院の開設者、頓宮寛(とんぐう・ゆたか)の医業をたどったドキュメンタリーは、同時に歴史小説の面白さを併せもつ。世界の辺境にあった日本の医療界を飛び出し、世界の列強のひしめく中国大陸で、生来のコスモポリタンぶりを発揮し、戦争と混乱のなか、真摯に、ひたすらに医業を成し遂げようとした稀有な医療者の物語。

## タイ・ビルマ国境の難民診療所

女医シンシア・マウンの物語

著：宋芳綺 編訳：松田薫／新泉社

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税) TEL：03-3815-1662

■タイ・ビルマ国境の町メソットにある難民診療所「メータオ・クリニック」。院長は、ビルマ軍事政権の弾圧を逃れてタイにやってきたカレン民族出身のシンシア・マウン医師。お金がなく、医療から遠い難民や移民に、無料診察を続けて20年。その取り組みを紹介する臨場感と、愛にあふれるドキュメンタリー。彼女を支えるボランティアやクリニックで働く日本人看護師、梶藍子さんの話も収録されている。

